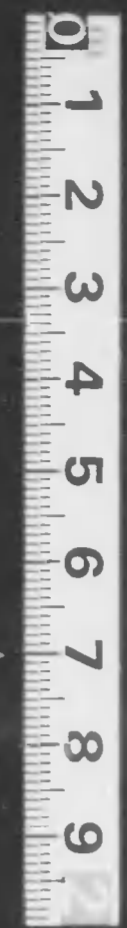


寫眞週報

情報局編輯
五月六日・第二十九號・十七

昭和十七年五月六日 第三編編輯局編輯 第二十九號 五月六日 日本新聞社發行 每份十錢



亞細亞復興の大道は開けた

殉忠の父、夫、わが子の靈は雄叫ぶ

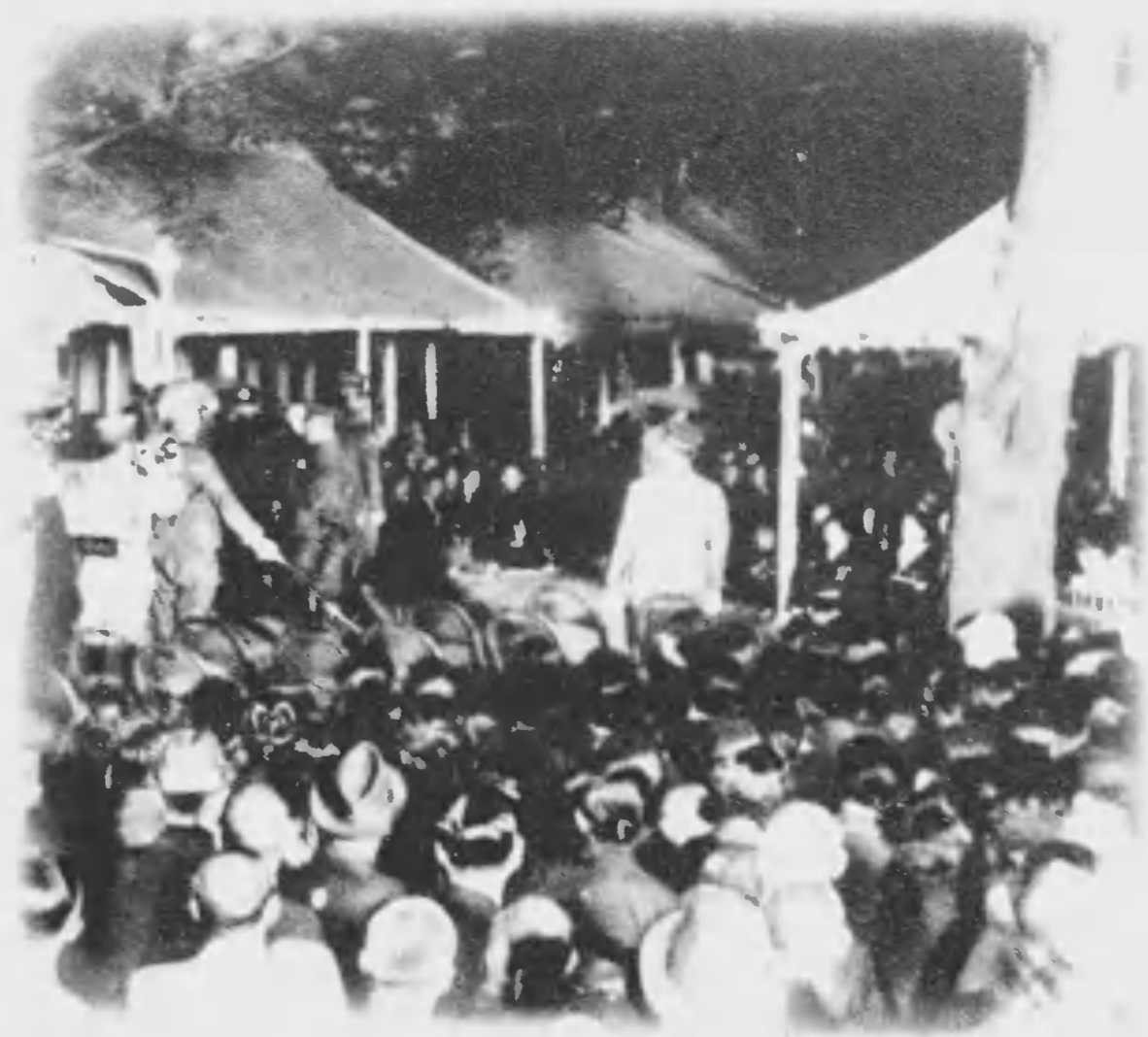
前進せよと

征かろ

築かろ

靖國の英靈を仰いで

大東亞共榮の礎を



タイ國

慶祝使節

晴れの入京

日タイ攻守同盟の締結を祝し、皇室を始め奉り、わが朝野に謝意と敬意を披瀝するため、はるく盟邦タイから特派された慶祝使節ビヤ・パホン中將の一行は四月二十五日、風薫る新緑の帝都へ入京、驛頭に出迎へた東條内閣総理大臣と固く感激の握手を交したものでした。

大東亞戰が開かれると直ぐ起つてわが一翼に命じ、十二月二十一日には攻守同盟を結び、近くは四月二十一日、日タイ經濟協成の假調印を行つて日本貨の圓とタイ貨のバーツとの等價を實施して、軍事、政治、經濟に益、緊密の度を加へる等、過去數世紀にわたる兩國友好關係は眞に鐵環の契りを固めるに至つたのであります。

一行は二十七日宮中に参内、天皇陛下に拜謁仰付けられ、來訪の使命を言上、恭しく圖書を捧呈、午餐の榮を賜はりましたが、その後約二十日間、關東關西各地を視察見學の上歸國の途につくことになつておます。



資料写真



北滿の原野に儼たり

無限軌道の轟き

敵の堅壁何もの、草をふみしだき、砂塵を巻いて一舉に突進、敵中に躍りこむわが関東軍戦車部隊の壯烈さ

撮影 滿洲國通信社 4



↑ 猛進する戦車の中である。機関銃手はくつと銃把を握りしめ、百發百中の狙ひをつけてはダダダと引金をひく

★ 漢★たる北滿の草原にも春は來た、萌え出る新緑、一時に咲き亂れるとりくの花、荒涼としてゐた北滿には俄に活氣が溢れてきた

南方作戦に呼應して大東亞戦下北邊の護りを磐石の安きにおく関東軍の威容は一切の敵性をして蠢動する余地ならしめてゐるが、けふも渺茫たる草原を噴んで戦車部隊の猛訓練である。怒號するエンジン、咆哮する無限軌道、火をばく機関銃、北滿の彼方を壓すこの轟音こそ東亞を護るわが鐵の力だ

砂塵を戦車の陸に避けて開く飯盒の飯こそ猛訓練をつける勇士のすき腹にはたとへやうもない珍味なのだ





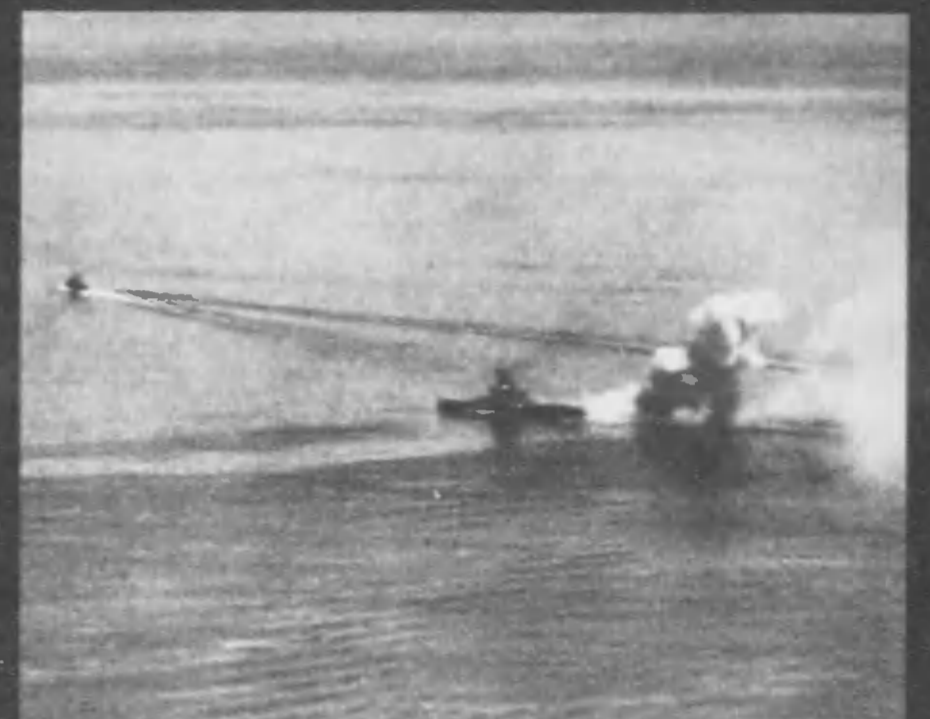
英航空母艦ハーネスはわが
海軍の命中弾を受けて大火
災を起しベンガル湾深く正
に沈没せんとしてゐる

英海軍省提供

英航空母艦 三ノ島を襲く

四月九日、セ
イロン島ツリン
コマリ軍港を襲
撃したのが海軍
航空隊は、同
軍港東方沖合
を南下中の英艦
ハリスを襲びに
艦隊一隊を發
見、直ちにこれ
を攻撃し、命中
弾を浴びせて撃
沈した。英艦は
同攻撃に受難し
た形勢によつて
攻撃の初期から
ハリスがイン
ド洋の海底深く
沈没する絶望ま
での模様を詳細
に撮影したのも
である。

ハリスは前大
隊中の一九一八
年臨時隊を編成
計畫に基づいて起
工され、一九二
三年に竣工した
基準排水量二万
八百五十トン。
動力二十五万
馬力、一四センチ
砲六門、一〇・
二センチ高角砲
三門、格闘機數
二〇機、海軍航空隊



英相対は力速がたし中命に部後の艦隊は第一の艦隊から、期初の撃攻
たれさ沈撃く互も間もれで、艦隊は逃げ逃げ島果の上洋左、Vシ



しれ停に全突は艦隊、あるあて中行艦を撃攻けなは艦隊から、期初の撃攻
たれさ沈撃く互も間もれで、艦隊は逃げ逃げ島果の上洋左、Vシ



たし沈沈は艦隊、し起が災火大てつはに弾中命の日發敵、期中の撃攻
たれさ沈撃く互も間もれで、艦隊は逃げ逃げ島果の上洋左、Vシ



たし沈沈は艦隊、し起が災火大てつはに弾中命の日發敵、期中の撃攻
たれさ沈撃く互も間もれで、艦隊は逃げ逃げ島果の上洋左、Vシ



正信はス船は、一、ためはは日船は右左、上、日、期初の撃攻
たれさ沈撃く互も間もれで、艦隊は逃げ逃げ島果の上洋左、Vシ



正信はス船は、一、ためはは日船は右左、上、日、期初の撃攻
たれさ沈撃く互も間もれで、艦隊は逃げ逃げ島果の上洋左、Vシ



昭南島の七新聞

陸軍報道隊
北町一 郎

ム林の中の銃聲と砲聲と
炸裂する彈雨の下で、シン
ガポール攻陥の精銳が敵國はるか
に紀元の昔を脱した日、ブキ
マ陸地の向ふの市内では名狀す
べからざる混亂が起つてゐた。こ
の日を最後としてシンガポールの
目と耳と口とすべての機能は停止
したのである。全西南太平洋にあ
くどい對日デマをぶちまいてゐた
放送局は、英軍自らの手によつ
て破壊され、各種の新聞紙は輪轉
機に半ば印刷しかけた捲紙を捲
したまま動力の供給を絶たれた
百万を超える人口と、マレー半島
からの難民は、この日からデマ

に脅え、流
音の中にさ
らされてい
つた。
しかし、
全島を要塞
化してその
堅固さを世
界に誇つて
ゐた英軍が
九万の大軍
團を擁しな
がら、交戦
僅か七日に
して無條件
降伏を申出
たのは二月
十五日、市
内警備のた
めに皇軍部
隊の一部が
入城した十六日の翌日には、シン
ガポールを昭南に改めた世紀の
軍布告を巻頭に掲載したマレー語
新聞「サトサン・メラユ」(マレー通
信の意)が早くも復活第一號を出
して、ニュースに便せてゐた市民
たちを心から喜ばせたのであつた。
『紙』は國家能力の今日、有力
な兵器の一つであり、彈丸であ
る。その全土に日英軍の勝へる
マレーでは、新聞は正しい日本の
理解を促し、大東亞戦争の眞意を
正確なニュースの傳達機關とし
て活用される武器の一つとなつ
た。各新聞は皇軍の管理するこ
ろとなり、その情報、指導、統制



一枚の新聞も三人の手へ、五人の眼へ、十人の口へ。回教寺院の見える街にて。

の下の、印刷工場の整備、避難職
工の狩り出し、無電ニュースの入
手など、すべて極端に不自由な條
件の下に困難を冒して著々と準備
はすめられていつた。そして、
二十日には、英字新聞「シ・ナ
ン・タイムス」が第一號を出し、翌
二十一日には華字新聞「昭南日報」
が華々しく創刊され、二十三日に
は大判の寫眞畫報「シ・ナナン・
フォト・ニュース」が印刷されて、
市内の辻々に貼り出され、同時に
マレー各地へ發送された。
來、マレーは各人種種の
展覽會場とさへいはれてゐ
る。この印象は戦前の二倍の人
口を呑み込んだ昭南の町へきて、
とくにはつきりと意識されるが、新
聞もまた複雑な貌を持たざるを
得なくなつてく
る。支那文が讀
めない華僑第二
世は英字新聞を
讀み、マレー固
有のジャワイ文
字を知らぬ支那
人や、インド人
でもローマ字綴
りのマレー文な
ら理解ができこ
のである。「サト
サン・メラユ」が
ジャワイ活字で
印刷されてゐる
のに對し、二十
三日創刊の「ワ
ルタ・ラサナ」

深された八日、とくに興味を深
上七つの日刊新聞は日と共
に發行部數と住民への反響
を増して、日本に對する正しい
認識と理解を日と共に深めてゆく
のに非常な力となつてゐる。ま
た、これらの紙面に久しく消息を
絶たれた親や子や妹などの安否を
たづね、或ひは健在を知らせる良
民の小廣告が毎日のせられてゐ
る。これを數日わたる戦争の一
つの相対とすれば、各新聞の
日本語會話入門欄が、紙面のうす
黒くなるまで愛讀され、スクラッ
プされてゐるのは、快活調にある
新秩序建設の一面を有力に物語つ
てゐるといへよう。皇軍將兵の侍
ちかねてゐる邦字新聞が日刊とな
つて手に渡るのも近いことである

椰の湯

★につぼん
をんせん

大林 勇

時ならぬ虎造節の合唱である。それはもう／＼と立ちのぼる湯気の中から板垣ひの入口を流れ出て、サン／＼と眼を射る熱帯の太陽に溶けてゆく。突元とそびえる山の裾をめぐって、数十百丈の断崖の間へ入りこんで行ったところに、このマレーの、マレーらしからぬ陶器境がある。

もつと詳しくいへば、イポーを隔たる約十キロ、日蓮宗布教師の開いたといふ、その名もにつぼんをんせんがこれである。もつとも温泉とはいつても、ここは元來が寺であつて、小徑をわけて入つてゆくと、朽ちた門標に日蓮宗法華經寺と讀める。その見上げる軒に、銀何佛何の何某とこの法華經寺建立に盡力した鑲金者の名が、日本名が連ねてある。それらの人々の、雨風に古びた名を一つ／＼讀んでゆくと、何かしら眼が熱くなつてくるのだ。そんなふうな門をくぐつたところ、左右の池がごとごとと湯である。池の中に例の浴槽があり、崖下の岩のくぼみを利用して、そこにもまた一つ、天然の浴槽が板にかこはれてゐる。

浴客たちの休息のために、たゞ一軒茶店の如きものがあり、たゞたゞしい文字の貼紙がある。通譯のためイポーにゆきます。遠慮なくお入り下さい。萬事支那人に委しあり。日本人経営おぼや。

★眠れぬ夜に

小川 光明

更に正面断崖十メートルほどの天然洞に本堂があり、つゞく洞窟の一部早に踏み入ると、私たちは病臥する一人の老婆をそこに發見する。リョウマチで不自由なため、イギリス兵の邦人投擲の際、取り残された老婆である。四十年前マレーへ渡つてきたといふ老婆は、ひつきりなしに見舞に押しかける浴客の兵隊たちに取りまかれながら、聞きとりなくひ九州辯で、イポー上空の空中戦を語るの

である、幸福な孫を前にした祖母のやうに。消燈後のなにか／＼寝つかれぬ、眠れぬまゝに足音を忍ばせて床を抜けペランダの藤椅子に倚りかゝる、静かな夜である、これも戦争があつたのか知らず疑ふほどの静寂である、降るやうな美しい星月夜、今夜も十字星は濡れた光をまたいつてゐる。やもりが暗い軒下で鳴く、やもりは愛すべき存在である、怪奇な貌にも似ず、あの聲には愛嬌がある、あの鳴聲を聞かない夜は間が抜けたやうな氣さへする。迷ひ杜の彼方から、トン／＼、トン／＼、戸を叩くやうな音がきこえてゐる。

こえ出した、マレーに來た當座は、てつきり蛙とばかり思つてゐたが、ある夜起き出してその身許を洗つたら意外にも一種の鳥であることを知つた、それは何かを訴へるやうに、夜びいて啼きつづけるのである、今夜もしきりに啼く、私はそのリズムミカナルな聲を聴き、やうに聴き惚れながら、つい懸想に陥るのでつた。私の胸裏には、殷々たる砲聲がまだ昨日の出来事のやうによみがへる、シンガポール攻略中の〇〇では彼我の砲聲がチェッコみたいに絶えぬやうに、あの一彈毎に、友軍もまた敵兵も、多数の犠牲を出しながら死闘をつつてゐたのかと思ふ、今こゝで、じつと寝てゐる氣さへしないのである、〇〇では、同じ御用船で来た戦友が数名戦死した、若く美しく散つたに相違ない、しかもいま、なほ我の戦友は死者狂ひで戦つてゐるにちがひないのだ。私は今日まで生き長らへてきた、濟まない、ほんとに濟まないと思ふ、死んだ諸兄の身を思へば、どんな難事も出来るはずだ、我我のもつ小さな感情、個人主義、我儘はこの際深く抛棄しなければならぬ。



〇 亭々たる椰子樹に囲まれて大東亞戦争の華と散つた勇士の英霊はこゝ大宮の御社に南の導りとして神鎮まる



〇 早くも閉鎖した國民學校では海軍砲も凄々しい兵隊さんが教壇をとつて、土地の兒童たちの日本語勉強は素晴らしく急進課だ

子供らはイロハの勉強

—グアム島の相親一變す—

かつてアメリカの對日前進基地として、虎視眈眈たる野望を秘めたグアム島は、大東亞戦争勃發にあつては早く早軍の占領するところとなつて以來、その相貌を一變した。もうどこを探しても確直した戦争の表情を見ることはできない。いまや大東亞の據點としての地位を確保して、そこには營々たる汗と力の建設戦線が轟かに奏でられてゐるばかり、グアムの街々は完全に日露戦と日本の兵隊さんで賑つたのだ。過去数世紀にわたるアメリカの歴史と入れかはつたわが軍政下の新生グアムは日本の息吹を大きく呼吸しはじめたといふことができるであらう。

撮影 日本映画社



〇 政廳前、わが海軍陸戦隊遺跡の跡を偲ぶ木の香も新しい標柱の近くには、故國の行々懐しく村の道しるべと立てられてゐる



〇 みづ／＼しい西國の空の下、養生一杯に躍動する兒童たちの若い肢體に伸びゆく大東亞が約束される

狼群が赤子のやうな聲でなきはじめ、戦友の消息がしほなつかしくきこえる。

★戦争と言葉

〇〇 秋尾文三

シンガポールが陥落して間もない或る日、敵の將軍が敗軍の整理に關し援助を求めてわが部隊本部を訪れた。その時折悪しく、英語の通譯不在のためこちらのマレー語の通譯と、隨行してきたマレー語の達者な敵側の參謀の仲間で、やつと用を達したことがあつた。人にものを頼みに來るのに、日本語の通譯も連れない彼等も不遜なら、指導者をもつて自任するお互ひが、マレー人の言葉で話し合ふのも可笑しいと思つた。われ／＼が〇〇に進駐した當時、同盟國人同志の意思疎通が、主として共同の敵たるイギリスの言葉によつてなされたことも情ない話である。大東亞戦争このかた、戦線の彼等が誇らかに自國語を話し、戦勝のわれ／＼が冷汗を流しひげ目を感じながら、訥々たる外國語を操るを餘儀なくせられてゐるとは、何たる不合理であらうか。往々にしてこの事實を失念とせず、恥辱とせず、一知半解の外國語をもつて誇り顔する輩に至つては唾棄すべきである。インド人同志が英語で話し合ふ國など民族の誇りいづこにあると疑ひたくなる。われわれはいゝ日本語を積極的に普及させた。



健康民運
日八一月五

大きく口をあけ、胸を張って「大空高く日の丸の……」歌聲は緑なす野邊にたゆたひ、小鳥どもまで楽しそうだ

ふりそよ、春の陽を二ばいに浴びて、はすむ四肢のびるからだ



春の来る頃の木々もみなに強い

東京府京平久留米学園



六時起床とすると、力強い発声練習の音は、さうさうと、
四時、見ると、その時は既に朝の光が、
庭裏の子供たち、その日の朝、
に、この空を、
に、この空を、
に、この空を、



「トミ子さんは、ハイ、三十八度、
「ミツ子さんは、午前、午後、
には、次々、
には、次々、



「一日おきの午後、時分、
「一日おきの午後、時分、

結核は病状が進むと、
結核は病状が進むと、
結核は病状が進むと、
結核は病状が進むと、





かかもめだ
いあじだ大漢

燃料不足を乗り切つて戦ふ
金華山沖の漁船

かかもめが群れ飛ぶ。その下には魚の群がある。申合せたやうに出漁船が寄つて来る

かかもめが群れ飛ぶ。その下には魚の群がある。申合せたやうに出漁船が寄つて来る

素つ裸で網を絞ると、かかもめ空から威嚇をうける

大東亞戦争勃発とき、水産関係の食糧は一連國民の栄養補給上いよゝ大きな役割をもつが、一方、漁網、漁具、努力、特に燃料の不足はこの、海の幸の増産を逆に阻まうとする

しかし、前線將兵に遅れじと張切るわが海の戦士達は、かうした困難を見事に克服し、不屈の闘志を燃しつゝ大洋に挑みかゝつて行くのである

即ち、魚群の共同探見、共同曳船による燃料の節約は勿論のこと、戦争に伴ふ重油の不足を補ふため、木炭ガス漁船から、最近更に石炭ガスで走る漁船が登場し、一方共同経営等による努力不足対策と相俟つて、増産への逆條件を力強く乗り切つてゐるのである

そして、こゝに紹介する宮城縣金華山沖の「鱈大漁」の一齣も、これら水産資源の獲得に挺身するわが海の戦士達の輝かしい戦果の一つである

撮影 田村 茂

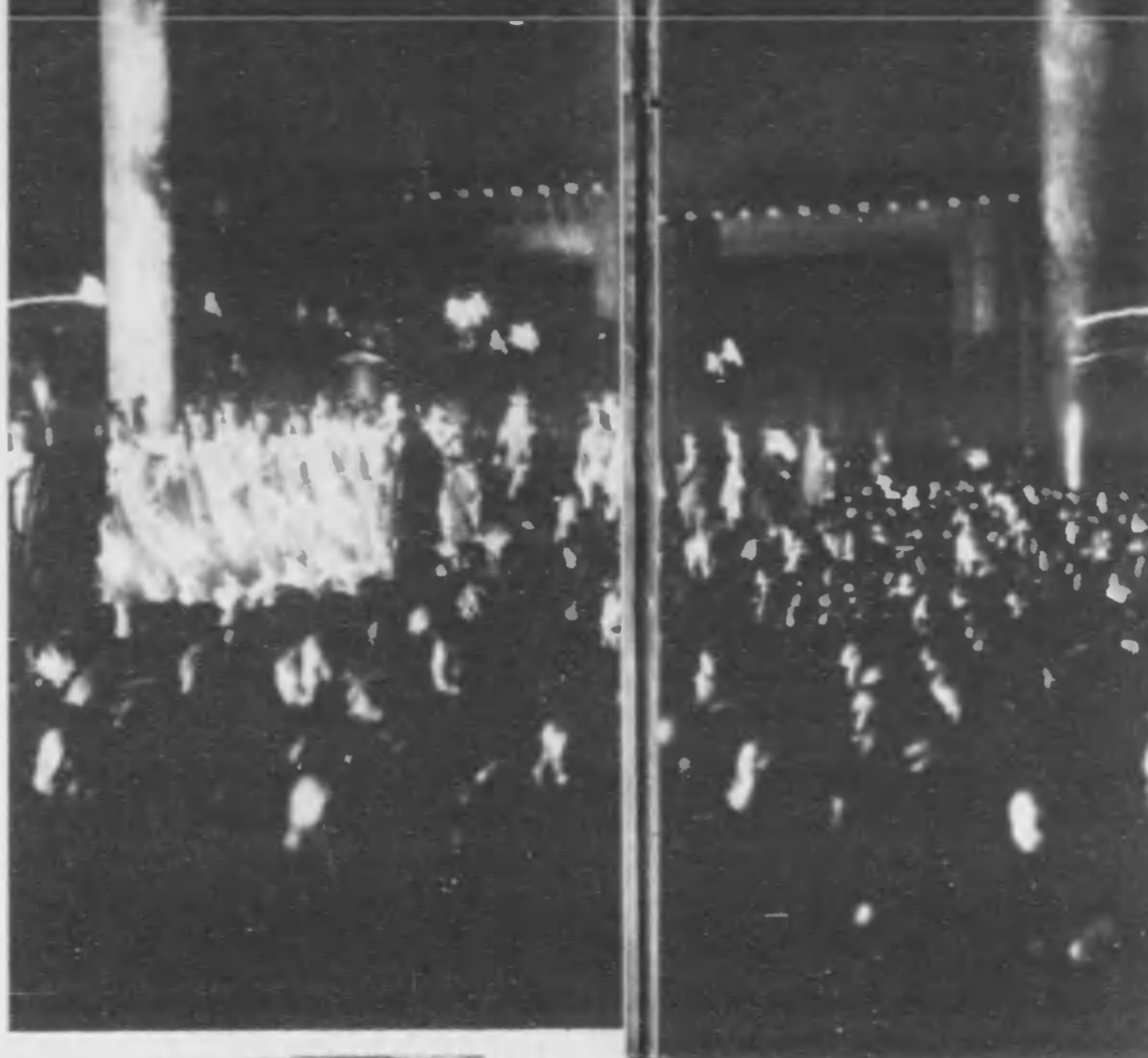


どの網も油のつた鱈で、ハチ切れさうだ。タマで抱ひ上げる腕にもひとりで力が入る

運搬船の腹はもう一ぱいだ。けよの戦果を運送する海の戦士達は、これで前線の兵隊さんにも顔向けできるやうな気がするのである

靖國の

社頭に聴く



北海道 山本さわかさん(六九)
お社を拜んで只有難いといふ他何も考へません



東京都 杉本愛三郎さん(七〇)
日本にだけしか神様はないと思ひました



千葉県 然田平一さん(二六)
兄として弟の名譽を傳つてやらにしたいと思ひます



静岡県 前田菊蔵さん(六五)
伴も男子の本懐をやらうと思ひます。わしも本懐です



殉忠の英雄一万五千七柱を永へに神靈めまらせる招魂の儀は四月二十三日夜屋かに執り行はれた。滞留中に拜すわが父子、夫の神なる姿、南から北から九段に陣を築うた三万の遺族は囁きの聲をききつゝ手を合わせた

北海道 内田よね子さん(二七)
よね子、よききでたね。兄さんは喜んでおました



東京市 長谷川良一君(七)
僕も、大きくつたらきつと強い兵隊になるよ



和歌山縣 山田武蔵さん(六三)
あないに配つてもろて伴も幸せ者やウツフ



長野縣 柏原常政さん(六七)
ハア東京ははじめマヤ。昔さんがよろしくれやす



福井縣 白崎松二郎さん(五二)
今朝遊きました。この大鳥居を見上げたら胸が一杯です



茨城縣 中里力雄さん(二八)
有難いことです。自分も叔父に負けない決心をります



大阪府 村田万次郎さん(六七)
今度お参りができて病氣も治る位な有難い氣がします



鹿児島縣 大下清吉さん(五二)
遠方からきました。何かゆいはれんあいごとくはす



岡山縣 兒子健次さん(六三)
亡くなったのは、わしの二番です



三重縣 岩間みきさん(七〇)
ハイ、伴にな、逢ひにきましたよ



大阪府 美田もとさん(四八)
空襲やうてあけてたら死んだ息子に申譯がおまへん



茨城縣 廣木才助さん(六六)
目に浮んできたのは、ふたん通りの元氣な息子の顔でした



大分縣 蘇本登志明君(一一)
兄ちゃんに合へるので一生懸命きた。兄ちゃんは偉いや



北海道 内田亀吉さん(六八)
東京の皆さん方の親切が身にしみます



千葉県 大竹もとさん(五五)
息子はお國のもの、私のごとは五人全部が軍人です



栃木縣 寺内兼吉さん(六三)
忠孝は一本といひますが、伴の孝行が身にしみて嬉しい

誌日画漫争戦亞東大
介道 川石



リッパが英米で泰安日



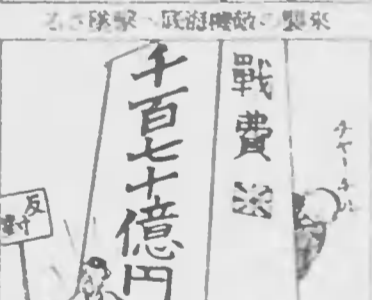
仲談おて愛カラン艦運艦軍



5.年計畫



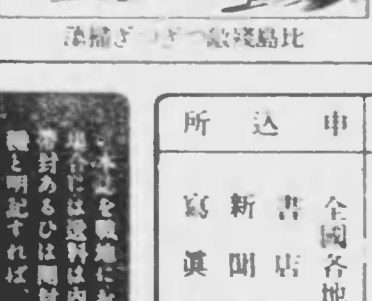
るに陸軍一隊海陸軍の襲来



戦費送 千七百七十億円



と陸大民國英二軍費的學文夫



添補さ び一敵艦島比



照準器

お鍋を鏡兜用
小泉 紫郎
お鍋を鏡兜用にするのは、お鍋の蓋を鏡兜の裏面に貼る。お鍋の蓋は、お鍋の口より少し大きめに作る。お鍋の蓋の裏面に、お鍋の口と同じ大きさの穴を開ける。お鍋の蓋の裏面に、お鍋の口と同じ大きさの穴を開ける。お鍋の蓋の裏面に、お鍋の口と同じ大きさの穴を開ける。



鏡鏡組
防空陣
お鍋を鏡兜用にするのは、お鍋の蓋を鏡兜の裏面に貼る。お鍋の蓋は、お鍋の口より少し大きめに作る。お鍋の蓋の裏面に、お鍋の口と同じ大きさの穴を開ける。お鍋の蓋の裏面に、お鍋の口と同じ大きさの穴を開ける。お鍋の蓋の裏面に、お鍋の口と同じ大きさの穴を開ける。



鳥撃ち仲間空の護り
お鍋を鏡兜用にするのは、お鍋の蓋を鏡兜の裏面に貼る。お鍋の蓋は、お鍋の口より少し大きめに作る。お鍋の蓋の裏面に、お鍋の口と同じ大きさの穴を開ける。お鍋の蓋の裏面に、お鍋の口と同じ大きさの穴を開ける。お鍋の蓋の裏面に、お鍋の口と同じ大きさの穴を開ける。



軍神片山兵衛長の慰霊祭

不滅の武勳を讃えて、其の遺徳の光を散らす特別慰霊祭。九軍神の合同海軍葬は四月八日、比谷公園野球場で、一億感謝のうちに執り行われた。これより先、片山兵衛長の出身校岡山縣五城国民学校においても、同兵衛長の慰霊祭が執り行われた。



大鼓下 武士道堂・旺んなり

武士道堂・旺んなり。同市 岩田忠雄。武士道堂は、戦前の面影をいまに傳へる。同市 岩田忠雄。武士道堂は、戦前の面影をいまに傳へる。同市 岩田忠雄。武士道堂は、戦前の面影をいまに傳へる。



子供のうちから買貨

奈良市立西園国民学校では、時局に際して、買貨運動を推進するため、児童に買貨の習慣を身につけてもらう。この運動は、四月十五日の植樹祭には、全校生徒一千名が自分たちがつくった竹筒を背負って、学校林に入り、伐木したあとに植樹を行ひ、まきを土産に元気で歸校しました。



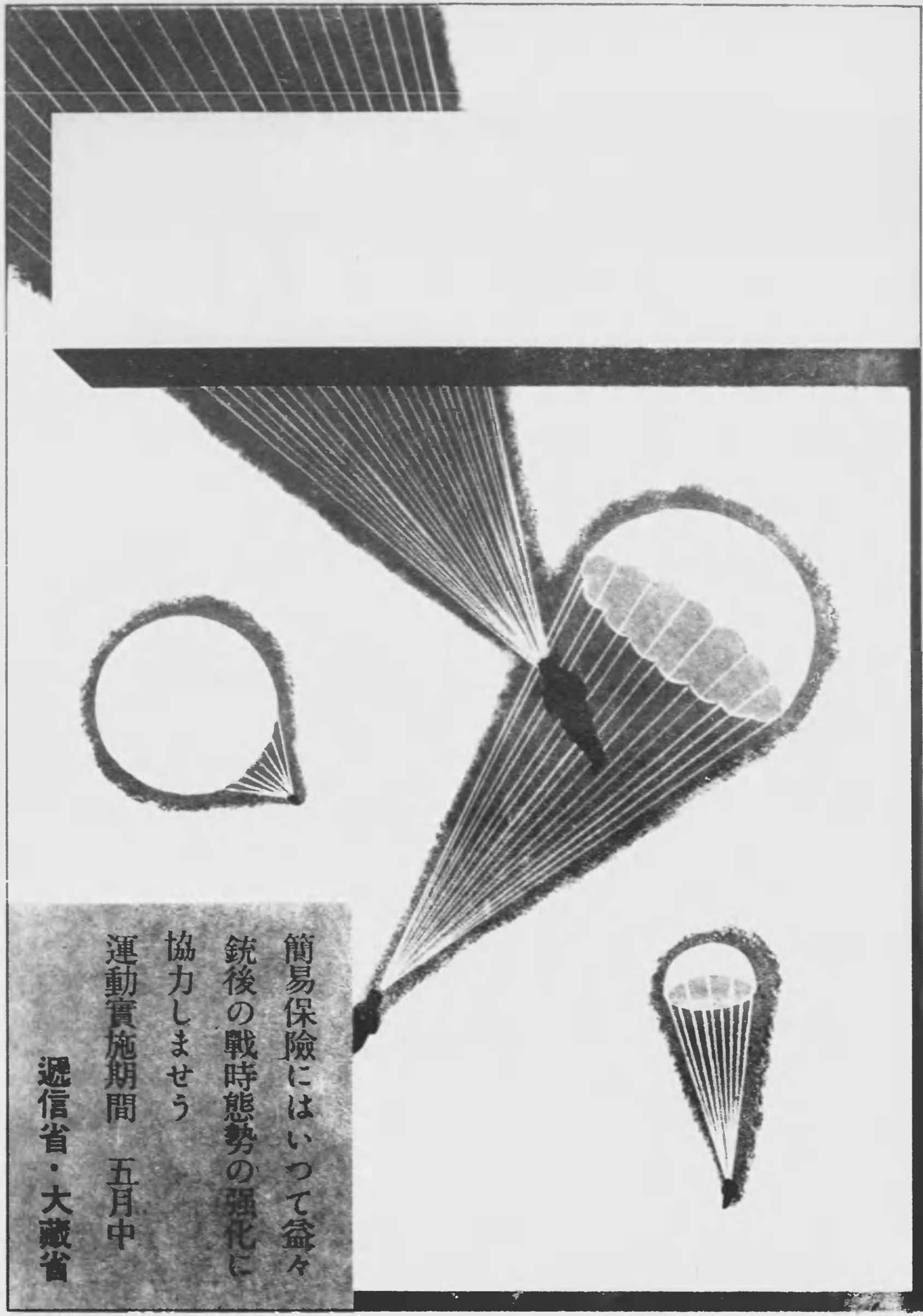
軍神片山兵衛長の慰霊祭

軍神片山兵衛長の慰霊祭。同市 岩田忠雄。軍神片山兵衛長の慰霊祭は、戦前の面影をいまに傳へる。同市 岩田忠雄。軍神片山兵衛長の慰霊祭は、戦前の面影をいまに傳へる。

本誌からあなたは何を學んだか
1 わが海軍部隊の猛攻にベンガ
ル湾の艦隊と消えた英艦
ハルマスは 戦艦 航空
母艦 甲級巡洋艦 潜水
艦 砲艦 潜水母艦
2 ビヤ・パホン氏といふ使節が
遙々來訪されました。この
使節はどこの國から派遣され
たのでせう 佛印 ビル
マタ イ 日本語
3 結核とかけ火事と解く、そ
の心は、
4 どんな状態になつたとき結核
が完全に治つたといへます
か、
5 昭南島で發行されてゐる新聞
は何語で書いてありますか
日本語 支那語 イ
ンドネシア語 マレー語 英
語
6 日本とタイ國との間には何か
經濟上の取りきめができてゐ
ますか、
7 結核病は肺の他にどんな所に
發病しますか、
8 昭南島の街角で「グロタン・
ヌラユ」といふものを賣つて
ゐた、これは、 果汁の特に
豊かな果物、 新聞の名、
マレー人の首飾り、
9 皇軍がいち早く占領したグア
ム島には、 要塞守備兵の他
土地の住民はゐなかつた。
住民はゐるにはゐたが不思議
と子供が一人もゐなかつた。
10 もしも結核にかつてゐない
かと心配して赤血球沈降速度
をはかつてもらったから普通
に比べてとても早いといはれま
した。まだ熱もないし、咳も
出ないのですが、ほんといと結
核なのでせうか、
一問十點としてあなたは何點
でしたか、

所 達 申	價 定
全国各地官報販賣所	一部十錢(送料一錢)
書店・驛賣店	(送料別)
新聞販賣店	▲送料別
寫真材料店	▲送料別

寫真週報(禁轉載)
昭和十七年五月六日印刷發行
★表紙
いよ、明日あたりめざす
〇〇島に敵前上陸だ。水ばかり
跳めて水が、肉の味をく
り返してゐた勇士の顔もく
つと緊張してゐる。艦内も俄
かに高熱が起つた。
既に幾度かの激戦で疲れた
兵士は、またまた敵の血を
吸はせてやるぞ
マンカール(〇)艦上にて
撮影 山崎海軍報道班員



簡易保険にはいつて益々
 銃後の戦時態勢の強化に
 協力しませう
 運動實施期間 五月中
 逓信省・大藏省

内閣印刷局印刷發行

列位 販運・A4 格規定同は...